

勸善懲惡錦画図解 第三號

第三號

大坂第一大區九一

小區拾九番地入江平助

が養女おきくと江戸端

舞の

指南を

引きて

養父母をややみ浮らるる引きて心平く

孝心厚きゆかり然る養父平助を心そよまらぬ養女

おきと心を掛けて度くおきとらぬてしと消え此上

妻を去りて思ひを遂んとて是とつれおきと妻をも生國藝州廣まへへ一亦も養

女とて向ひ夜とく日とく責り口説き心二随らるるを憤りく打擲し及少度々

えれど近河隣も聞て何とゆやとあはれを我らとて聞ぬ故と一向平助

平助が道一けりもあきふ小き女の孝女もつれを此上も養母へ孝を尽せ外

マとてつる夜則おきと夕して家を出則の軒お提灯をつらきて猶内らつるお小

ちり涙ならぬ只獨りね旅路をちりと藝州廣嶋かちゆと覚えらるる三味

線と身過ぎりて養母をややとせん

時習舎

一電画

出版所

本町四丁目 藤井時習舎



勸善懲惡錦画図解3号 文庫10-8072-2

